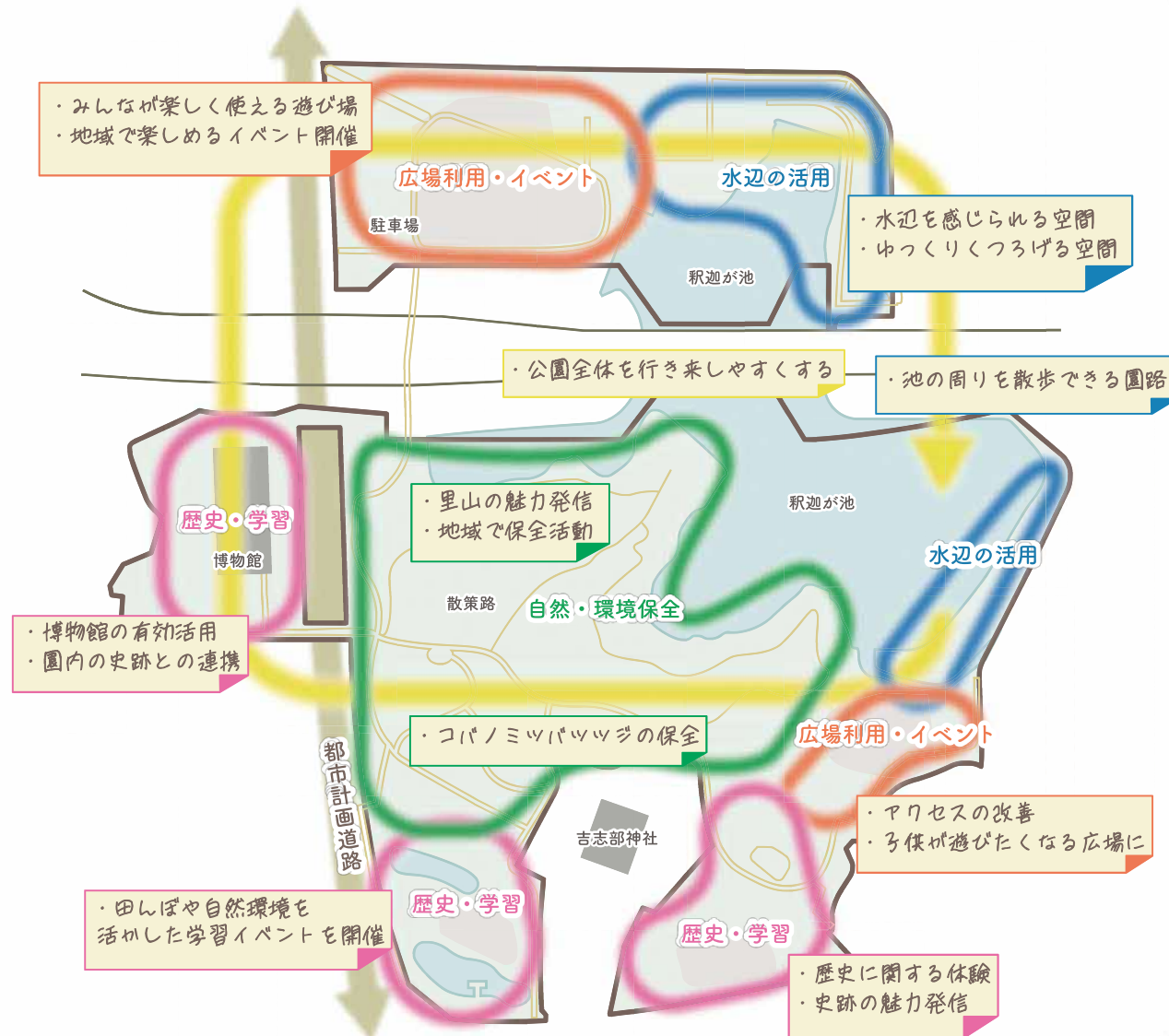


いただいた意見から、公園の使い方のイメージと公園整備に必要なポイントを整理してみました！

公園の使い方のイメージ



公園整備に必要なポイント

1. 自然・歴史の保全

⇒公園の特徴をふまえたゾーン分けで、自然と歴史を守りながら公園を使っていくことが必要

2. 誰もが安心して使える環境

⇒危ない場所や通りにくい場所を改善し、誰もが気軽に楽しめる公園にすることが必要

3. 市民も一緒に作っていく公園

⇒現在行われている活動を次世代へと引き継ぎ、市民みんなで公園を利用・管理する仕組みが必要

今後の予定

- 第1回：令和5年12月16日（土）10：00～
場所：吹田市立博物館
- 次回
第2回：令和6年2月18日（日）10：00～
場所：吹田市立博物館
- 『どんな公園になってほしい？
～公園でしてみたいことを考えよう～』
- 第3回：令和6年6月23日（日）14：00～
場所：吹田市立博物館
- ➡社会実験：令和6年9月頃
- 第4回：令和6年11月頃



Instagram やってます！

【公式】紫金山公園

「みんなでつくる紫金山公園プロジェクト」

ご意見はこちらに
お寄せください！

発行：吹田市土木部公園みどり室（担当：姫井・武川）

TEL：06-6834-5364 mail：dousei-kouen@city.suita.osaka.jp

みんなでつくる 紫金山公園プロジェクト

第1回

ワークショップ News Letter

紫金山公園の魅力向上事業

紫金山公園は市民のみなさんに親しまれながら、今年で開園から50周年を迎えました。

吹田市では、今後の管理水準の向上や様々なニーズへの対応等の課題解決を図るため、紫金山公園の魅力向上策を検討しています。今後の公園整備や管理に市民の皆さんの意見を反映させるために、ワークショップを開催して「目指すべき姿（素案）」を作っていきたいと考えています。

第1回ワークショップについて

ワークショップには、子どもから大人までたくさんの方に参加いただきました。

兵庫県立大学の大敷崇司 准教授よりワークショップの進め方についてアドバイスを頂いた後に、6班に分かれて紫金山公園の「魅力」「変えたいこと」「してみたいこと」「あればいいもの」について意見交換をしました。意見交換の際には、淡路景観園芸学校の学生の皆さんにもお手伝いいただきました。

- ・開催日時：令和5年12月16日（土）10：00～
- ・開催場所：吹田市立博物館
- ・参加人数：54名（うち、お子さん2名）

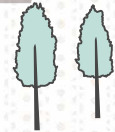


ワークショップでいただいた主な意見



1 班

- ・北側と南側で印象が違う。
北側は遊具もある活動的なエリアで、イベントを行うならこちらが良い。
南側は歴史や自然が豊かなエリアで、魅力を活かした道が作れたら良い。
- ・多世代が公園に集まる仕組みが必要！



- ・ゾーン分けが重要！いろんな人が過ごしやすい公園に！
- ・博物館はうまく利用されていない、道路ができると賑わいができるきっかけになるかも？

2 班



3 班

- ・自然が公園の大きな特徴、残しつつ何ができるか考えるのが必要！
- ・公園での活動に小学生・中学生を巻き込みながら、みんなで保全！



- ・釈迦ヶ池も周遊できるようにすれば、北側と南側が行き来しやすくなるかも？
- ・防災面でも公園を活用できるように整備することが必要！

4 班



5 班

- ・園路の状態が悪いが、整備するときには自然とバリアフリーのバランスが重要！
- ・太陽光、バイオマス、小水力などの自然エネルギーを活用する場としてみたらどうだろう？

- ・地域のイベントやお祭りができたら良い！
- ・お店ができると人が集まってくる、地域の公園としてはどうなのかな？

6 班



〈その他の意見〉

自然

- いろいろなどんぐりの木、コバノミツバツツジ、桜、たくさんの野鳥等、季節ごとの豊かな自然が魅力
- 自然の魅力を高めたり、自然の中で遊べるようにできたら良い
→コナラやワタギ等の実のなる植物を植える
→木の名前の札をつける
→危険なところの解消
→広場における外来種の対策
- 釈迦ヶ池の水辺が感じられると良い
→釈迦ヶ池が見えるように整備する
- 貴重な里山中心の公園として保全していきたい
→林・水辺・草原・田んぼがそろっている
→子供と一緒に里山や水辺を体験できる場所
- 自然の魅力を伝えるものが必要
- 自然共生サイトへ登録
- 都市計画道路がどのように通るかで公園の姿が変わる
→自然環境への影響が少ない方向へアピールが必要



公園施設

- 公園内のトイレが古くなっているので、改修してバリアフリーにしてほしい
- 遊び場がもっと良くなったら良い
→うんてい、水遊び、滑り台、アスレチックエリア
- 休憩できる場所があったら良い
→日かげ、あずまや、自動販売機
- オープンで多世代が集まって交流できる場所が必要
→カフェ、集会室、地域の掲示板
- 駐車場が広くて無料なのが良い
- 駐車場が無料なのはもったいないのでコインパーキングにしたらどうか
- 老朽化した場所の修繕が必要
→崩れた石垣など
- 博物館に展望台を設け、吹田市を一望できるようにしてみたらどうか？



大藪先生からのコメント



今回のワークショップを通して、紫金山公園が地域の皆さんにとっても愛されている公園だと感じることができました。

紫金山公園は北側・南側で異なった特徴があるため、それぞれの特色を活かして、多くの人が参加しやすい公園を作っていくことが必要です。また、北側・南側のアクセス性を高めると公園全体を一体利用できるかもしれません。

自然を保全・活用していく上では、資金や人材が不可欠です。公園の魅力をいかに若い世代に伝え、保全に興味を持ってもらえるようにするのも課題ですね。例えば、北側のイベントに来てもらうことで、南側の保全活動にも参加してもらえるような仕掛けづくりが大切だと思います。

参考資料 4 - 1

歴史

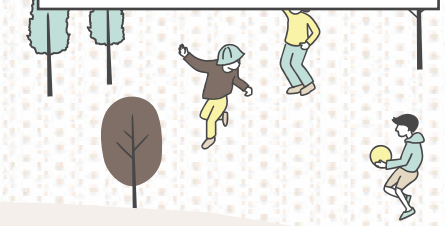
- 吉志部神社が近くにあるのが魅力
- 歴史や民俗が伝承されてきた場所
→歴史を体験できる取り組みがあると良い
- 史跡に関する案内が分かりにくい
→史跡を説明する看板があったり、案内する人がいると良い
- 博物館があるが、あまり利用されていないので有効に利用できると良い
→バックヤードツアー →公園内の史跡との連携
→学校との連携
- ピンワ火山灰層を保全してほしい



利用

- 世代間の交流ができるような、いろんなイベントを行いたい
- ゆっくりできる場所があると良い
- スポーツやアソビティビティを楽しめる場所があると良い
- 走り回ったり、ボールでも遊べる広い場所が魅力
→「遊べる場所」と「憩える場所」、「球技をする場所」と「そうでない場所」を分けてほしい
- 池があるのに、水辺で遊べる場所がない。安全に遊べる場所が欲しい
→釣り堀 →安全のためのフェンス
- 映えスポットがあると良い
- 誰もが移動しやすい環境や工夫が必要
→電動カート →水辺の周遊路でのアクセス改善
- 夜に通ると暗い場所がある。
照明を増やして明るくしてほしい。
→夜も使えるようになるが、不審者が増えたり、たまり場になると困る
→照明を増やすと植物への影響が心配。影響が少ないようにしてほしい。
- どっちに行けば何があるか分かるような案内サインが欲しい
- 吹田 SA と行き来できると良い
- 市民による活動が活発。市民も一緒に作る必要がある。
ボランティアが連携したり、次世代につなげられる場があれば・・・
- 公園の PR ができていない。情報発信が必要





みんなで作る 紫金山公園プロジェクト

第2回

ワークショップ News Letter

第2回ワークショップについて

第2回のワークショップでは、前回のワークショップで意見交換した内容を踏まえて、紫金山公園で「**してみたいこと**」について参加者の皆さんに具体的に考えていただきました。

グループワークでは「自然」「利用」「防災」「歴史」などのさまざまな視点で、たくさんのアイデアをいただくことができました。また、自分のアイデアだけでなく、他の人のアイデアもみてもらい、自分と異なる視点での公園の使い方も共有してもらうことができました。

今後、いただいたアイデアのいくつかを実際に公園で試してみる予定です。

- ・開催日時：令和6年2月18日（日）10：00～
- ・開催場所：吹田市立博物館
- ・参加人数：45名（うち、お子さん2名）



今後の予定

- 第1回：令和5年12月16日（土）10：00～
場所：吹田市立博物館
- 第2回：令和6年2月18日（日）10：00～
場所：吹田市立博物館
- 第3回：令和6年6月23日（日）14：00～
場所：吹田市立博物館
『「してみたいこと」を試しにやってみる準備！』
➡社会実験：令和6年9月頃
- 第4回：令和6年11月頃

次回



「公園でしてみたいこと」のまとめ



大藪先生からのコメント

本日はみなさんからたくさんのアイデアをいただくことができました。例えば、紫金山公園の大きな魅力である自然について、見て楽しむだけでなく、薪を作って料理に使うようなアイデアもあり、さまざまな視点で公園の使い方について考えられたと思います。

これからの紫金山公園を考えて行く中で、公園に来たことがない人にも来てもらえるようにすることが重要です。そのために、四季の特徴を活かして、自然や防災に関するイベントに取り組んでいくことも面白いかなと思います。また、地域の子供たちにもっと公園を利用してもらうために、近くにある学校と一緒に取り組んでいくことも必要だと思います。



Instagram やってます！
【公式】紫金山公園
「みんなで作る紫金山公園プロジェクト」

ご意見はこちらに
お寄せください！

ワークショップの進め方

- ①「してみたいこと」シートに
- ・将来、公園でしてみたいこと
 - ・将来に向けて、試しにしてみたいこと
- を書く

②グループ内で自分のアイデアを発表

③「いいね！」と思ったアイデアに投票



「してみたいこと」のアイデア

▶自然環境を楽しめるように、**モデルルート**の**設定**、**植物名**や**ルートの看板**の設置をしてみる

▶**自然の保全活動**をみんなですてみる。**植物**、**歴史の観察会**をしてみる。**防災訓練**として、炊き出しをしてみる。 など

▶**コバノミツバツツジ**を**保全**するために、常緑樹の伐採や下草刈りを行う。**コバノミツバツツジ**を**自宅**で育ててみたい。

▶従来の防災訓練のほか、かまどベンチやマンホールトイレ、トイレやキッチンのトレーラーなども取り入れた**防災訓練**をしてみる



▶**コバノミツバツツジ**の増殖、**外来生物の駆除**等の保全活動を行う。**環境教育の場**として使ってみる。

▶**デイキャンプ場**をつくってみる
子どもが**水遊び**できる**プール**を設置してみる

▶利用できることが大事なので、**季節に****応じた催し**（花見など）や**防災活動**などをする

▶**防災や避難時に役立つ知識**（火起こし、ろ過技術など）を学べる**防災訓練**をしてみる

▶**防災訓練**をしてみる。3日間ぐらい過ごせるように**テント**を張ってみたり、みんなで炊き出しをしてみたりする。

▶**非常時**や**非日常時**にも生活できるように、かまどやトイレにも転用できるベンチを置いてみる。 など

▶子どもが**水辺**や**生き物**に**さわれる**ような**自然**をつくる。**竹林**や**松林**をつくる。 など

▶**近隣の小学校**の児童を公園に案内し、**みどりの会**の活動を紹介してみる

B グループ



▶里山の管理作業の体験、池や森にいる生物の調査体験など、**子どもと一緒に環境保全**にとりくんでみる

▶**間伐材**から**製品**を作ったり、**落ち葉**を利用して**焼き芋**とかをつくってみる。わレー選手権をしてみる。

▶地域のお店と個人が出店できる**マルシェ**、**キャンプ・ウッドクラフト体験**、**イルミネーション**などをする

▶親近ヶ池から公園内にかけて、車いすの人も楽しめる**チェアリングスペース**を設置してみる

▶悲しい時、困った時、1人で寂しさを流せる空間・場所がある公園を目指す

▶**虫や植物の観察会**を企画してみる。雑木林を整備して、**未来まで森として残したい** など

▶自然の魅力がどこにあるかを知らせる**案内**や**ワークショップ**をしてみる。**フォトコンテスト**をしてみる。

▶**被災を想定した避難生活体験**をしてみる
テントを張ってみたり、炊き出しの体験など

▶**スタンプラリー**や**謎解きゲーム**をして、里山エリアを歩くきっかけにしてみる
木やどんぐりを使った工作、田んぼで泥あそび、もちつきなどの**昔ながらのイベント**も組み合わせる

A グループ



▶いつでも、**だれでも参加**できるような**フットサル**を企画してみる
呼びかけしやすいような雰囲気をつくってみる

▶将来に**桜の木の下で音楽ショー**をしてみたいので、まずはボランティアの人を集めて**公園のゴミ**や**落ち葉**を**整理**してみる

▶古代の登り窯にちなんで、**ピザ窯**を作ってみる
里山の間伐材を使って焼き、**食材は地産地消**で！

▶公園内に**自然や歴史**についての**ミニ情報**や**クイズ**を設置し、探しながら周っていきけるようにしてみる

▶コバノミツバツツジ、吉志部瓦窯跡、吉志部神社など、**自然や歴史の観察・見学・解説**をしてみる。

▶**松茸**が育つような環境を作ってみる

▶**多世代が交流**できるような**キャンプ**をしてみる

▶**電気エネルギー**（流水発電など）を作ってみる。あらゆることで**地域の若い人**（小学生、中学生、高校生、大学生）の**アイデア**を尊重する。 など

C グループ



▶里山の生産と魅力向上のために、**きのこ栽培**をしてみる

▶木々の剪定プロジェクト！！**木を継承**していくために、専門の方から学びながら新しい芽吹きのための**剪定、整理**も**体験**してみる など

▶**紫金山全体**を**探検**しながら調査し、**魅力も巡るツアー**を考えてみる
防災に使える**トイレベンチ**、**トイレ**を設置してみる

▶**避難ルート**の**安全性**を確認してみる
スケーターをする人にどんな施設ができればいいか話してみる

▶**公園の歴史**を学んで広める機会をつくってみる

▶人の**ネットワーク**を作るために、**自然観察会**なども通じてもっと**人があつまる機会**をつくってみる

▶博物館を開放的にして、**イベント**、**コミュニティ**の活動の場づくりに取り組んでみる

▶**たき火**や**BBQ**ができるか確認するために、試しに行つて煙の影響、片付け、サイト数の確認等を行ってみる

▶里山の**自然植生の管理**に**若い方が参加**できる機会を作ってみる

▶「**どんぐりまつり**」にもっと人を呼びたい。紫金山の不要な**木材**や**木の实**を使った**ワークショップ**、**写生会**、ご近所の作家さんや店による**マルシェ**をしてみる。

▶多世代が参加できる**パフォーマンス**等の広場、瓦焼き等の**歴史体験**、**公園**を**周回**できるようにする、**音楽・パフォーマンス**、**ボール遊び**ができるようにする

▶紫金山のことを知ってもらえるように、**里山保全の魅力**を**体験**ツアー（防災体験・歴史から学ぶ）をする。芝生公園では**マルシェ**も！

▶**本の物々交換**をしてみ、どれくらいの人数、年齢の人があつまるか試してみる

▶公園の**自然**や**歴史**も**体験**できる「**紫金山公園オープンデー**」をしてみる（自然や歴史の体験、保全活動やガイドツアーへの参加など）

▶毎月の活動時に保全作業をすると共に、**紫金山公園の自然ガイド**をやってみる

▶**テント**や**あそび道具**の**レンタル**をしてみる

▶里山のコナラを切って**キノコ栽培**してみる

みんなで作る 紫金山公園プロジェクト

現地見学編

ワークショップ News Letter

現地見学会を行いました！

みんなで作る紫金山公園プロジェクトでは、これまでのワークショップの中で公園の魅力や課題、してみたいことについて、参加者の皆さんと意見交換をしてきました。今回、魅力や課題を実際に見て共有するために**現地見学会**を行いました！

現地見学会では3つのコースに分かれて、公園を歩きながら意見交換をしました。コースには普段なかなか訪れないような場所も多く、新鮮な気持ちで公園を見ることができました。コースの途中では吹田市立博物館、釈迦ヶ池土地改良区、紫金山みどりの会、吉志部神社の方からとても興味深いお話を聞くこともできました

現地見学会の後は**親睦会**！みんなで一緒に食べて、遊んで、親睦を深めることができました。

- ・開催日時：令和6年4月13日（土）10：00～
- ・参加人数：34名（うち、お子さん6名）

親睦会では
豚汁やゲームを
楽しみました♪



出発前にみんなで
レッツゴー！

吉志部神社の歴史を
教えてもらいました！



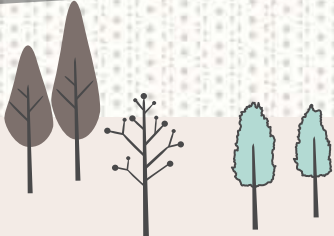
みどりの会のみなさんの
活動を見せてもらいました！

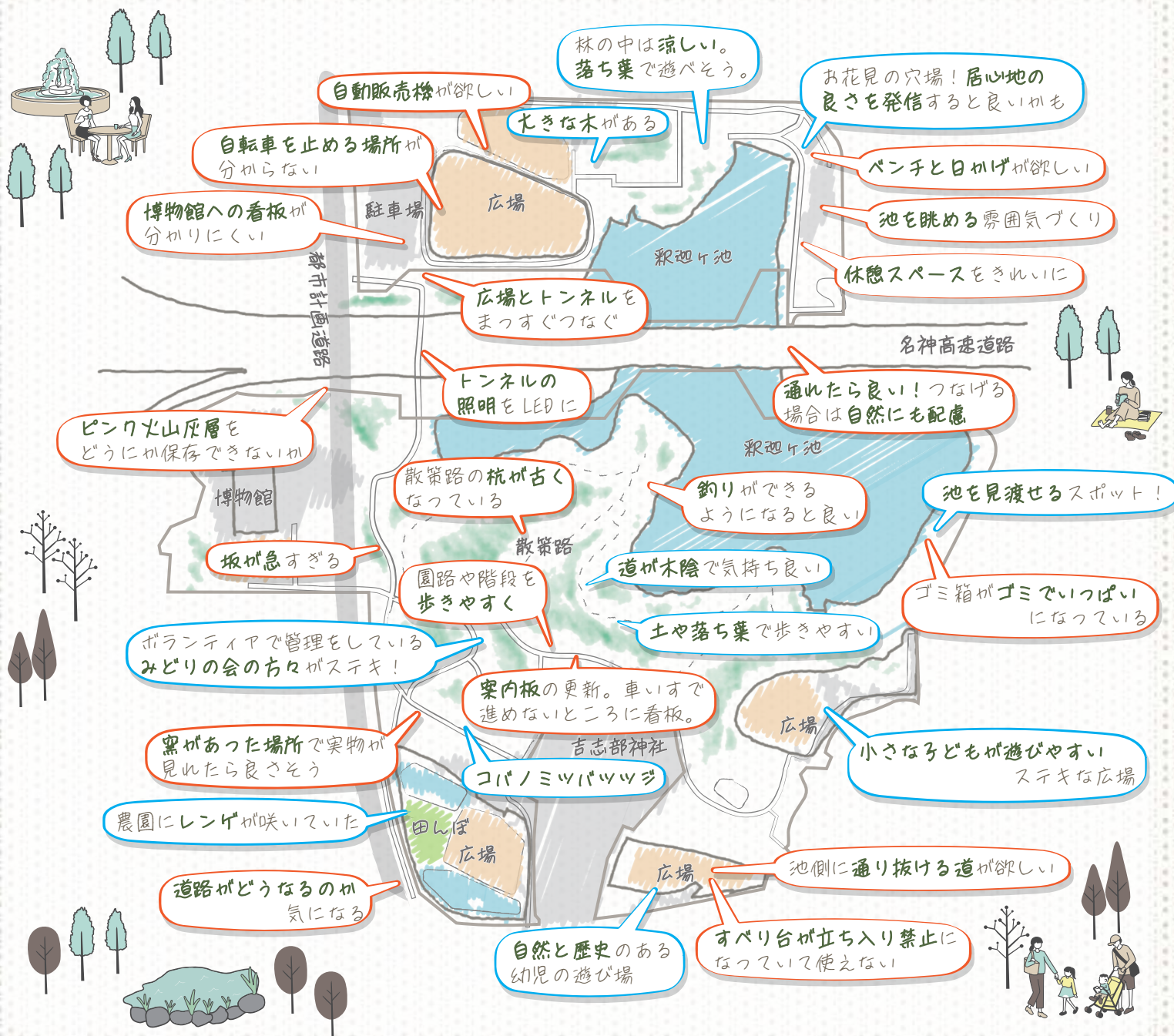


見つけた**魅力**や
課題を共有！



みんなで**記念写真**！





大藪先生からのコメント

皆さんで公園を歩いて魅力や課題を再発見し、また、その結果を共有することができ大変良かったと思います。南側のエリアは「みどりの会」の皆さんによる取組が続けられており、魅力的な里山が保全されていました。また、公園内の史跡は大変価値のあるもので、これらをうまく紹介しPRすることも大事だと改めて感じました。一方で、ゴミなどの課題もたくさん見つかり、これらにも対処していく必要があります。

今回見つかった魅力を守っていくためには、これまでの活動を維持していくとともに新しい活動にもチャレンジし、次の世代にも公園に興味を持ってもらうことが重要です。

そのためどのようなことをすればよいか、引き続き皆さんと考えていけたらと思います。



Instagram やってます!

【公式】紫金山公園

「みんなでつくる紫金山公園プロジェクト」

